

## 第3章 声調

### 1. ベンデ語声調の特徴

Swahili 語など少数の言語を除き、ほとんどの Bantu 諸語は声調言語で、その多くが音韻的声調を持つ (Kisseberth and Odden 2003: 59). ベンデ語も大多数の Bantu 諸語と同様、意味の区別に弁別的な声調を持つ。本章ではベンデ語の声調の全体的な特徴を第 1 節、名詞声調の特徴を第 2 節、動詞声調の特徴を第 3 節、通時的特徴を第 5 節に示す。

#### 1.1. 弁別の声調 (最小対)

ベンデ語では、声調の違いが意味の区別に関与する。以下の例は声調によって区別される最小対である。(2)-a) のように、声調のみでなく母音の長短が関与する例もある。

##### (1) 名詞声調の最小対

a)	SG	PL	
	<i>úkálá</i>	<i>mákálá</i>	ツメナシカワウソ
	<i>úkálá</i>	<i>mákálá</i>	木炭

b)	SG	PL	
	<i>lúsángá</i>	<i>nsángá</i>	草木の花
	<i>lúsangá</i>	<i>nsangá</i>	呪医のマラカス

c)	<i>úughwě</i>	あなた
	<i>úughwe</i>	この (近称指示代名詞)

##### (2) 動詞声調の最小対 (動名詞形)

a)	<i>kúfílá</i>	たくさんあること
	<i>kúfílá</i> <th>水浴びさせること</th>	水浴びさせること
	<i>kufuíla</i> <th>脱がすこと, (唾を) 吐くこと</th>	脱がすこと, (唾を) 吐くこと

## 第3章 声調

b) *kúhíndúlá* 向きを変えること, 裏返すこと  
*kúhíndúlá* 答えること

c) *kútúná* (刃物が) 鈍くなること  
*kútuná* 断ること

d) *kúghóndá* (紙や布を) 折ること  
*kúghondá* 瘦せること

e) *kújilá* すること, 作ること  
*kújilá* 夜になること

## 1.2. 声調の種類, 声調型

ベンデ語の声調は, 語の音節ごとに H や L が決まっているというわけではなく, 語幹ないし語根全体で声調型が決まっている。音声的に実現される声調は, 語幹ないし語根がどの声調型に属するか, そして語全体の音節数がいくつかによって決まる。音声的な声調には高声調 H, 低声調 L, 下降声調 F, 上昇声調 R の 4 種類がある。

ベンデ語の音節構造は (N)(C)(G)V である。鼻音 N は成節鼻音とはならず, それだけで声調を担うことはできない。母音連続/VV/ には, 一方の母音が半母音化した GV, 同じ母音の連続である二重母音 VV, 長母音 V: があり, これらは基本的に 1 音節と数えられる。ただし借用語などにあらわれる母音連続には V.V と 2 音節と数えられるものがある。

(3)の *ku.twă*, *ku.a.mú.a* はいずれも 0 型の声調型(声調型とその実現形の詳細は後述)の語根を持つ。(3-a) は第 2 音節が *twă* と R で実現されるので, 0 型の 2 音節語のタイプである。一方(3-b) *ku.a.mú.a* は, *\*kwa.mwă* とはならず *mú* が H で実現されている。つまり母音連続 *ua* が *ú.a* と 2 音節分と数えられ, 全体としては 4 音節語の実現形, すなわち後ろから 2 番目の音節が H になっている。

## (3) 母音連続 VV の数え方

a) 母音連続 VV が 1 音節と数えられる(全体で 2 音節)

*ku.twă*

ku-tù-a

GER-pound-IND

搗くこと

b) 母音連続 VV が 2 音節と数えられる借用語(全体で 4 音節)

*ku.a.mú.a*

ku-amu-a

GER-decide-IND

決めること (Swahili 語借用)

音声的な声調は H, L, F, R の 4 種類が音節上で実現されうるが, F は HL, R は LH が 1 音節上で実現されたものである。語幹ないし語根ごとに決められた声調型で実現されるべき H ないし L は, 語全体の音節数によって H や L の声調を 1 つずつ音節に結びつけられないことがある。そうした場合, 1 音節上で HL が F, LH が R で実現される。また, 音声的な規則により, 本来は H の音節が F で実現されることもある。H, L, F, R は短母音, 長母音, 二重母音, 半母音化母音を含む音節のいずれでも実現される。

#### (4) 実現声調の種類

声調の種類	短母音	長母音, 二重母音	半母音化
H	<i>sí.tí</i> 木 (SG)	<i>íí.sá.ká</i> ソルガム (SG)	<i>syá.mbí</i> 餌用ミミズ (SG)
L	<i>ii.síí.lí</i> 雄ヤギ (SG)	<i>íí.nó</i> 歯 (SG)	<i>mwa.ká</i> 年 (SG)
F	<i>nú.ngwá</i> ヤマアラシ (SG, PL)	<i>íí.syu.bhá</i> 太陽	<i>mwí.fó</i> 下 (連続物で何かの中)
R	<i>ii.tě.mbe</i> 土囊壁 (SG)	<i>ii.bheéle</i> 乳房 (SG)	<i>ii.twí</i> 耳 (SG)

語幹ないし語根の声調型には 3 種類あり, それぞれ H(igh) 型, L(ow) 型, 0 型と呼ぶことにする。H 型は語幹ないし語根が H で始まるもの, L 型は語幹ないし語根が L で始まるもの, 0 型は後ろから 2 番目の音節が H となり最終音節は再び L となるものである。借用語の多くが 0 型で実現される。それぞれの型の基本的な実現声調は, 声調規則 1 に示す通りである。σ は音節をあらわし, σ の前の数字は音節数である。音節構造や統語構造により異形があるが, 異形については後述する。

#### 声調規則 1

語幹, 語根の基本的な実現声調

	1σ	2σ	3σ	4σ 以上	例 (2σ 語根)	
H 型	H	HH	HHH	HHHH	<i>-bhá.mbá</i>	(皮を) 張る
L 型	R	LH	LHH	LHHH	<i>-bha.ndá</i>	突つつく
0 型	R	RL	LHL	LLHL	<i>-soó.ka</i>	降りる
		HL				

基本的に, 名詞語幹, 動詞語根ともに H, L, 0 型のいずれかに分類される。ただし名詞と動詞では実現される環境が異なるので, 以下, 名詞声調と動詞声調に分けて説明する。